

国試手続き お助けページ

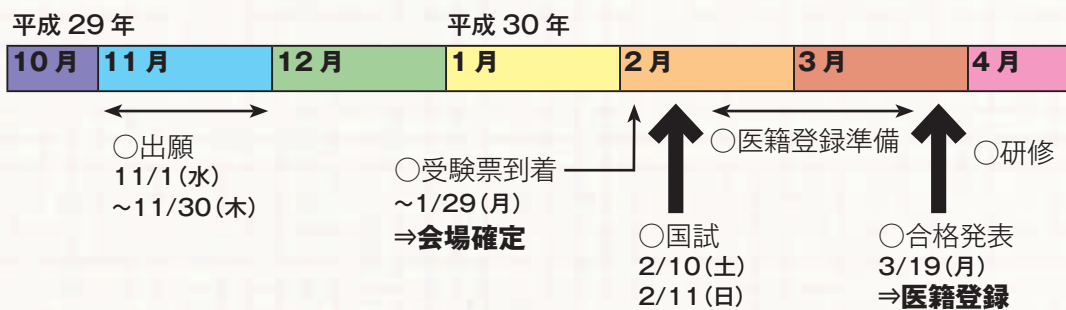
～ 出願から医籍登録まで～

国試が近づき、勉強時間が貴重になってきました。面倒な国試まわりの手続きは、サッとスムーズに済ませたいですね。このコーナーでは、出願準備から免許取得までの手続きお助けガイドを用意しています。これだけあれば手続きは安心、必要書類ややるべきことのチェックリストつきです。

国試まわりのもろもろのはなし

- 国試前** ① 医師国家試験の出願って何をすればいいの? → p.59
- ② 受験票はいつくるの? 会場はいつわかる? → p.59
- 国試当日** ③ 当日って何を持っていけばいいの? → p.60
- 国試後** ④ 合格したらやらなきゃいけない「医籍登録」って? → p.62

国試手続きカレンダー



☆第112回医師国家試験 施行要綱
http://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/shikaku_shiken/ishi/
 ☆医学生応援サイト INFORMA / 112 回国試情報 → 右の QR コードから check!
<https://informa.medilink-study.com/web-informa/post10832.html/>



国試前 平成29年11月1日(水)～11月30日(木)

出願

11月1日から30日までが出願期間です。出願にあたっては、次のものを用意する必要があります。

✓ CHECK! 出願書類チェックリスト

<input type="checkbox"/> 願書	<input type="checkbox"/> 受験手数料	<input type="checkbox"/> 受験写真用台紙 + 写真
たいていは各大学で厚生労働省の書式を準備してくれます。	15,300円分の収入印紙を用意。 (郵便局で買えます) 受験願書に貼付。その場合、 収入印紙は消印しない こと。	台紙に必要な事項を書き入れます。 写真は6ヵ月以内に撮影されたもので、6×4cmのものを使用。 裏に①の記号、撮影年月日、氏名を書きこんで受験写真用台紙に貼り付けます。
<input type="checkbox"/> 卒業証明書	<input type="checkbox"/> 返信用封筒	<input type="checkbox"/> 印鑑
新卒生はまとめて大学の事務で用意してくれるようなので、気にしなくてよし。 既卒生はそれぞれ出身大学へ問い合わせ発行してもらいましょう。 その際、手数料+送料(郵送の場合)が必要となります。	表面に自分の郵便番号、宛先を記入した長3封筒(23.5cm×12cm)。 522円分の切手を貼り付けて書留表示をします。 新卒生など、大学を介して出願する場合は不要。	出願する時から受験の後まで、重要な書類を書くことが多いので、常備しておきましょう。 「国試専用ハンコ」を用意する人もいます。

上の出願書類を用意すると、新卒生は大学でまとめて出願してもらえることが多いです。既卒生で個人で申し込む人は「医師国家試験運営本部事務所」に郵送で提出します。各試験地を管轄する「医師国家試験運営臨時事務所」に直接持参しても大丈夫です。

国試直前 出願～平成30年1月29日(月)

受験票到着

受験票は、新卒生は大学でまとめて取り寄せてくれます。その場合は大学の指定した期日に各自大学まで受け取りに行きます。だいたい**国試の数日前**です。

個人で申し込んだ場合は、受験手続き終了後、確認が済み次第、平成30年1月29日(月)までに返信用封筒の住所に郵送されます。

受験票交付の際に「受験者留意事項」が配られ、会場、集合時刻、持参品、時間割、注意事項がわかります。このときに初めて**受験会場が確定**するので、当日の準備をしておきましょう。

✓ 当日の準備チェックリスト

- 会場近くのホテルは予約した？(会場が遠い人、朝が不安な人に)
- 試験会場までの行き方は確認した？(何通りか確認しておくとお安心!)
- 友人との待ち合わせは決めた？
- 緊急時の連絡方法は確認した？

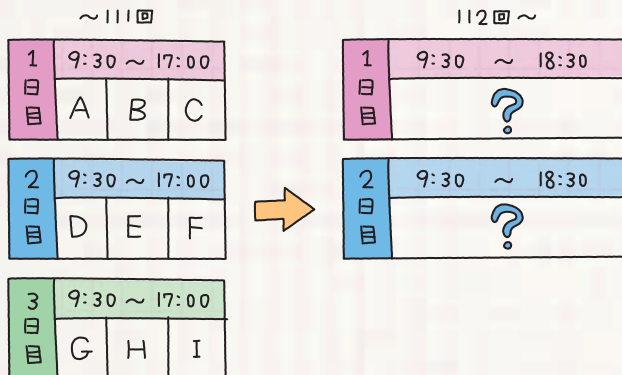
☆「受験生の宿」

Googleなどの検索サイトでこのキーワードを入れてみましょう。学習機の用意・電気スタンドの貸出・昼食用弁などを用意してもらえるホテルや、それを紹介してもらえる旅行会社を見つけることができます。基本的には大学受験生を対象にしているサービスですが、積極的な対応をしてくれるホテルの目安になるので参考にしてみるとよいでしょう。

当日のスケジュール

100 回国試から「受験者留意事項」に時間割が記載されるようになり、“必修問題”や“総論問題”がどの時間に出題されるのか予想して勉強ができるようになりました。

2018 年（112 回国試）から国試の日程が 3 日間→2 日間に短縮されました。現時点では時間割は未定です。1 日当たりの試験時間は 9 時 30 分～18 時 30 分となり、終了時刻が遅くなるが予定されています。



当日の持ち物

冬場、長時間にわたって実施される国試では、寒さや体力消耗とも戦わなければなりません。試験に必要な物は勿論、防寒グッズや食料も事前に準備しておきましょう。

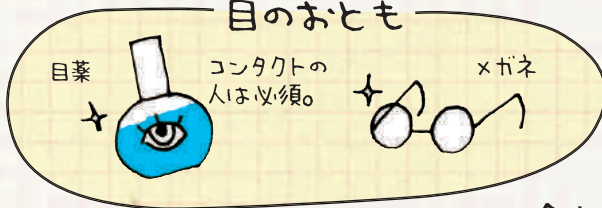
✓ CHECK! 当日の持ち物 (必須)

<input type="checkbox"/> HB 鉛筆 会場によってはシャープペンシルの使用が認められない場合があるので、鉛筆は必須です。多めに持つか、鉛筆削りもあるとベター。筆圧が高い人はHとかで十分かも。	<input type="checkbox"/> 消しゴム まずいないと思うけど砂消しゴムはダメ。試験官からも口頭で注意されます。(解答用紙を汚損するため)	<input type="checkbox"/> 黒ボールペン 試験の合間に配布される現住所確認用紙の訂正に必要となります。大多数の人は訂正の必要はありませんが、念のために持っていくきましょう。
<input type="checkbox"/> 時計 試験場には時計は設置されていません。必ず自分の時計を持参しましょう。退出可能な時間(試験開始後1時間～試験終了15分前)は試験官が口頭で伝えてくれますが、それ以外の時間に関するアナウンスはありません。 電卓付時計の使用や、携帯電話を時計がわりにすることは不可です。普通のを。		<input type="checkbox"/> 昼食 会場によっては近所にお店が無いので、あらかじめ用意していくのが無難です。 <input type="checkbox"/> その他 定規は○、コンパスは×。

当日お役立つツール&アドバイス

～先パイはこんなものも持って行った～

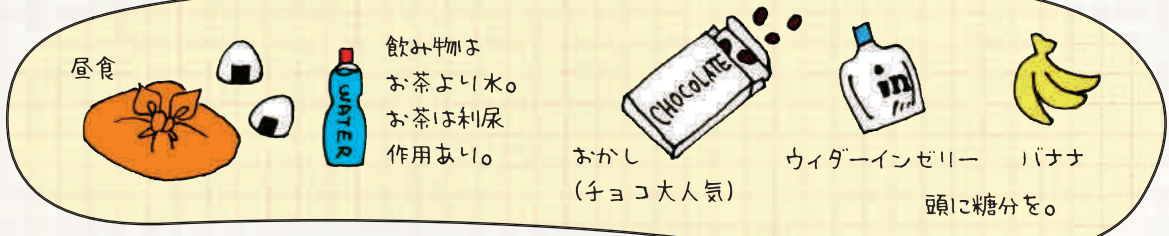
目のおとも



耳のおとも



食料・飲料



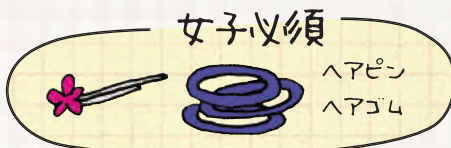
寒さ対策



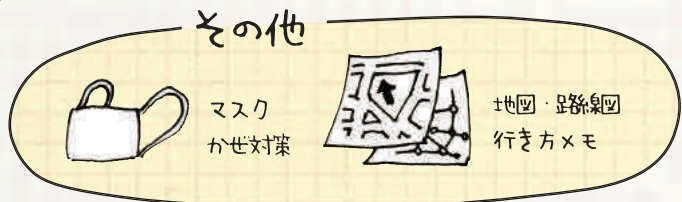
心の支え



女子必須



その他



～その他のアドバイス～

- ❗ 事前に試験会場の下見をしておくとう気持ち的に落ち着きます。
- ❗ トイレは余裕を持ってあらかじめ行っておきましょう。試験中も行くことはできますが、試験官がトイレの前までついてきます。
- ❗ 近年カンニング対策が厳しくなっているそうです。会場では茶封筒が配布され、その中に携帯電話類を入れて、机の上に置いた状態で試験が行われます。
- ❗ 受験番号は5桁記入するので、4桁の人は頭の「0」を忘れないように気をつけてください。
- ❗ 前日の復習も大事だけれど、試験期間中は早めに寝て睡眠を十分とること。2日間は想像以上に肉体的・精神的に疲れます。
- ❗ 会場によっては電車内の混雑で体力が奪われるので、余裕をもって家を出たほうがよいです。

「医籍登録」の準備をしよう！

怒涛の国試2日間が過ぎ去れば、すべてから解放された気持ちになることでしょう。しかし、合格発表までの1ヵ月間が実は重要です。

国試に合格したら「医籍登録」をする必要があります。医籍とは、医師免許を得た者の氏名・本籍などを登録する厚生労働省の帳簿のことです。登録確認がされていないと医療行為を行えないため、研修先の病院では見学扱いとなり、**お給料が支払われません**。

医籍登録は合格発表後に行うのですが、合格発表は3月19日。研修は4月1日から始まる病院が多いので、発表後にはほとんど時間がありません。そこで国試終了から合格発表までの約1ヵ月間に準備をしておき、合格発表当日に登録手続きをしてしまいましょう。

医籍登録に必要な書類は次のとおりです。書類によっては発行日の制限があるので、よく読んで間違えないように。

CHECK! 医籍登録の必要書類

<input type="checkbox"/> 免許申請書	<input type="checkbox"/> 診断書	<input type="checkbox"/> 登録済証明書用はがき	<input type="checkbox"/> 戸籍抄(謄)本
厚生労働省所定の申請書。受験前に大学から配られます。	医師免許申請手続用の診断書が必要になります。所定の用紙で 発行日から1ヵ月以内のもの 。	免許証が手元に届くまで仮の証明書となるはがきです。郵送料相当の切手を貼りつけて診断書の裏にクリップ止めて提出します。	発行日から6ヵ月以内のもの。本籍地が遠い場合は早めに手続きしておきましょう。
<input type="checkbox"/> 登記されていないことの証明書			※ 収入印紙 60,000 円分
「これって一体、何？」と思う方が多いでしょう。これはあなた自身が成年被後見人、被保佐人として登記されていないことの証明書です。医師法で定められている医師の絶対的欠格事由を覚えていますか？ この書類はその事由に該当しないことの証明に必要なわけです。 発行日から6ヵ月以内のもの。法務省に直接出向くか、もしくは郵送してもらいます。年度替わりの時期は特に証明書発行の申し込みが多いので、郵送による手続きが推奨されます。直接出向いた場合は当日、郵送でも1週間程度で発行されます。国試が終わったら早めに申請して入手しておきましょう。			登録免許税として60,000円分(ろくまんえん!)の収入印紙が必要になります。申請書の収入印紙欄に貼ります。収入印紙は絶対に消印しないでください。絶対の自信がある人は発表前に貼ってもよいです。

☆ 医師の絶対的欠格事由
医師法/第2章 免許/第3条「未成年者、成年被後見人又は被保佐人には、免許を与えない」によります。

国試発表後 平成30年3月19日(月)～

医籍登録が終われば、晴れて医師！

合格発表は、平成30年3月19日(月)午後2時に、厚生労働省、各地の医師国家試験運営臨時事務所にて行われます。また、厚生労働省のホームページでも発表があります(合格速報に直接アクセスするURLは、受験者留意事項に記載されています)。

合格を確認したら、嬉しくしている人々に報告したくなりますが、そこを我慢してまず**4月から研修予定の病院に合格の連絡**をしましょう。その次に医籍登録の手続きです。まず郵便局を探して**収入印紙60,000円分**を買きましょう。そして書類が全てそろったら、自分の住民票がある地区の保健所に行き、申請の手続きをして完了です。5月頃になると申請手続きを行った保健所から連絡があり、そこで医師免許証を受け取ります。それまでは医師免許証は手元にありませんが、前ページのリストにもあった**登録済証明書はがき**が医師免許の代わりになります。

また、発表の2～3日後に成績表が郵送で届きます。反省したりしなかったりしてください。



国試に向けてがんばっているみなさんへ…

国試までの長い道のり、毎日がほんとうに大変だと思いますが、合格の日は必ずやってきます。合格した自分の姿を想像してください。今している勉強は苦しいかもしれませんが、そのひとつひとつが医師としての責任ある仕事の基盤です。そのことを思い起こしながら、あと少し、がんばってほしいと思います。

この記事がみなさんの一助となれば幸いです。メディックメディアは受験生のみなさんを心より応援しています！